

沿革

茨城県曹洞宗青年会は、昭和33年に秋元義雄老師を会長として発足、平成19年には創立50周年を迎え、現在第18期になります。

当会は、夏期に行う坐禅会、緑蔭禅の集いを軸に、行脚托鉢、僧侶としての自己の研鑽と社会奉仕に会の発足当時より取り組んで参りました。おかげさまで、本年度に緑蔭禅の集いは第36回を迎えることが出来ました。



茨城県曹洞宗青年会

現在の活動

活動には、「緑蔭禅の集い」にバリエーションを増やし、一日参禅会(入門初心者向け)と摂心会(深く入り込んだ坐禅会)を取り入れ、初心者から深い参禅者までと広い範囲で老若男女を問わず、坐禅に勤しんで頂き、更に出張坐禅会を取入れ迎えるだけではなく、青年僧侶が向いて指導を行う坐禅会を行っています。

また行脚托鉢で県内各警察署員と協力し交通安全週間に、交通事故撲滅を祈念し、交通事故現場にて供養を行い、尊い命を感じていただく慰霊行脚を春秋2回実施し、茨城県内の縦横断・約300キロの行脚を、一般の参加者と共にすでに完歩。以降も県内各地を行脚しています。

また、節目には記念講演会を実施し、その他老人ホーム等慰問並びに、供養法話梅花レクレーションを行う法話会や手話講習、全国各地での研修、災害支援ボランティア活動を行います。

昨年度は、

- ・交通安全週間に、一般参加を含めた交通安全ワンデイウォーク慰霊行脚
- ・歳末助け合い托鉢や支援托鉢、僧侶として檀信徒様方や広く一般に仏教の心を広める為の研鑽を行う布教研修
- ・法要の中の梅花や入門講習を行う詠讚歌研修
- ・AED講習会
- ・会員の基礎体力作りや県内寺院様への法要派遣

いました。

全曹青に対しては、発足以前より、当時の県内の青年僧侶が出向、全曹青の発足に協力し、多年にわたり尽力され、その礎のもと今日に至っております。この数年間では、管区理事や執行部並びに各委員にも多数出向させて頂き良い経験を積んだことと思います。

今後とも機会があれば、全曹青等の出向や行事にご協力出来れば、各会員の研鑽や励みになることと思います。

足長	昭33年	丹波謙雄
副会	長	齋藤龍雄
		関口善之
事務局	長	南 秀典
会 計		松浦史享
会 員 数		46名
H P		http://ibasou.que.ne.jp/

などを行いました。

また国内に留まらず世界の災害が起きた場合、有志のボランティアが必要あれば積極的に出向き、無きときは後方支援や支援托鉢を行い義援金の援助が出来るよう準備しています。

更には、各法要で檀信徒様に分かりやすく解説を行う為の法要解説研修並びに、自己研鑽として多種多様な模擬法要を行う法式研修、老人ホームに出向いての慰問法話会、セーフティドライブینگ研修、

写真右：第一回茨城緑蔭禅の集い (昭和49年大統寺)
写真下：第三十五回茨城緑蔭禅の集い (平成20年永井寺)

